

富山県朝日町

議会だより



第112号
令和4年2月1日



成人式での誓いの言葉の朗読

感染症対策のため
モニター越しに見る保護者



11月議会臨時会・12月議会定例会

■令和3年度補正予算など	2～3
■代表質問 3名	4～8
■一般質問 6名	9～14
■常任委員長報告	15
■議会日誌 10月～12月	16

《発行編集》

富山県朝日町議会だより編集委員会

〒939-0793

富山県下新川郡朝日町道下1133番地

☎0765-83-1100(代)

12月定例会

補正予算、条例一部改正、議員提出議案の12案件を可決

令和3年12月朝日町議会定例会は、12月2日から16日までの15日間にわたり開催され、令和3年度補正予算、条例一部改正、議員提出議案が提案され、原案のとおり可決しました。

令和3年度補正予算の主なもの

1万円未満切捨て

一般会計（補正第6号）	総額	3億3,063万円
らくち～の管理運営費 ・指定管理料		387万円
OA化推進費 ・自治体クラウド標準準拠システム移行調査業務 ・庁舎内無線LAN配線工事 ・タブレット端末等		30万円 192万円 336万円
児童手当給付費 ・システム改修業務委託		385万円
健康診査費 ・システム改修業務委託		211万円
新型コロナウイルスワクチン接種事業費 ・接種費用 ・接種体制確保		3,579万円 2,467万円
病院費 ・感染症防止対策費等補助金		5,424万円
担い手農家育成・安定対策事業 ・経営継承・発展支援事業補助金		100万円
住民参加型移動サービス運行事業 ・シアターイベント開催業務委託		186万円
公共施設整備等基金積立金		1億8,000万円
特別会計		
国民健康保険特別会計 ・システム改修業務委託 ・療養給付費（負担金） ・高額療養費（負担金）		45万円 3,200万円 980万円

一般会計（補正第7号）	総額	1億4,504万円
らくち～の管理運営費 ・指定管理料		382万円
社会福祉事務費 ・灯油等購入費助成		685万円
老人福祉センター運営費 ・運営費		49万円
子育て世帯臨時特別給付金 ・子育て世帯等臨時特別給付金		1億1,800万円
災害復旧事業 ・林道宮崎・蛭谷線災害復旧工事		1,586万円

12月定例会審議結果

※議決日は12月16日

議案番号など	件名	審議結果
議案第49号	令和3年度朝日町一般会計補正予算（第6号）	原案可決
議案第50号	令和3年度朝日町国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第51号	令和3年度朝日町後期高齢者医療事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第52号	令和3年度朝日町簡易水道特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第53号	令和3年度朝日町下水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第54号	令和3年度朝日町病院事業会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第55号	朝日町国民健康保険税条例一部改正の件	原案可決
議案第56号	朝日町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件	原案可決
議案第57号	朝日町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例一部改正の件	原案可決
議案第58号	朝日町国民健康保険条例一部改正の件	原案可決
議案第59号	令和3年度朝日町一般会計補正予算（第7号）	原案可決
議員提出議案第5号	最低賃金の引上げ及び中小企業支援拡充を求める意見書	原案可決

11月臨時会審議結果

※議決日は11月30日

議案番号	件名	審議結果
議案第48号	朝日町の職員の給与に関する条例等一部改正の件	原案可決

11月臨時会

令和3年11月朝日町議会臨時会は、11月30日に開催され、条例一部改正が提案され、原案のとおり可決しました。

議会を傍聴してみませんか！

定例会は3月、6月、9月、12月に開催されます。日程については、議会事務局に問い合わせください。議会日程のほか、議会のインターネット中継・録画配信も下記URLの町ホームページからご覧いただけます。
<https://www.town.asahi.toyama.jp/gyosei/index.html>（トップページ⇒朝日町議会⇒各ページタイトル）

対面授業とオンライン授業の割合はいくらぐらいか



道用昭雄（一步会）

答 オンラインは1日に2教科程度で、使用時間は10分程度の活用が多い

質問 朝日町は新しい朝日町型の教育方針を進めているが、対面授業とオンライン授業の行われる割合はどのくらいで、デジタル教科書利用の評価は出ているのか。また、ネット依存は出していないのか、保護者の反応は。

答弁 教育長 オンライン授業はインターネットを利用した授業だが、現在、町内全ての小中学校全学年の対面授業の中でオンライン授業を実施しており、二項対立的なものではなく、どちらの良さも適切に組み合わせ、生かしながら授業を行っている。オンライン授業の割合は1クラスで1日に2教科程度の授業で使われ、使用時間は10分程度の活用が多いと聞いている。これからの学校教育は、ICTの活用を通して、新学習指

導要領が目指す「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業が求められており、今後とも教育の質の向上を図りたい。

朝日町では令和2年度に富山県初となる学習用デジタル教科書を導入している。また、同年にデジタル教科書の効果・影響などに関する実証研究の研究指定校に、全国5校のうち、さみさと小学校とあさひ野小学校が選ばれている。この検証では算数について「身につけたい3つの資質・能力」のうち「知識・技能」については紙の教科書の方が学習効果が高い傾向が、英語では「3つの資質・能力」の全てがデジタル教科書の活用が高い学習効果がみられた。

ネット依存に関して、1人1台のタブレット端末の活用に関する



タブレットを活用した授業風景

保護者からの相談はない。しかし、子どもが学習以外への使用に不安を感じている保護者が約2割おられる。このことから、端末にはネットゲームや有害サイトにアクセスできないフィルタリングソフトを導入している。また、個別面談や保護者懇談会での情報共有、全小中学校で家庭でのネット利用のルールづくりの他、専門講師による情報モラル教室も実施している。

再質問 新しい教育が進められる中でのメリットやデメリットは。また、これからの教育の展望についてどのように考えているか。

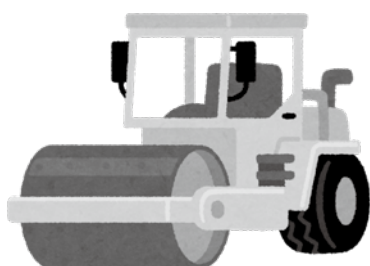
再答弁 教育長 オンライン授業では時間や距離の制約を受けずに学べるという最大のメリットが

ある。一方、記憶の定着という部分がおろそかになりがちであると実感している。また、わからないことは答えをすぐ探し出すので、考える力や思考力が低下していくのではないかと思っている。しかし、これからは知識・技能、習得するよりも、それをどう活用するかにシフトしている。新しい時代にあふさわしい子供たちの能力育成では従来型から、自ら考え、そして意見を述べる探求的な思考に代わる変革期にあり、今後授業改善を行っていきたい。

泊駅南土地区画整理事業への町の負担金の補正の必要は

答 資金計画では物価上昇を見込んでおり、影響はない

質問 資材や原油価格の高騰による、泊駅南土地区画整理事業に



代表質問



区域内の道路整備の様子

おける町の負担金の補正の必要はあるのか。また、保留地内の販売等はいつごろを予定しているのか。

答弁 建設課長 組合では、資金計画について、今後の物価上昇も見込んでおり、負担金への影響はないものと聞いている。また、整地（宅地造成）工事を施工中であり、16区画の保留地を造成予定で、令和4年度下半期以降の販売計画を立てておられる。

再質問 販売は朝日町の方に限るのか、販売価格についてはどれくらいか。

再答弁 建設課長 販売対象者は朝日町の方に限らず町外、県外の方でも構わないと聞いており、販売価格は今年度末に事業計画の見直しをされる中で見えてくるようだと聞いている。

答 町として組合をしつかり支援していきたい

質問 9月議会において、町長から弁護士と相談して進めているという言葉が出たが、今後はどのような方法で、いつごろをめどに最終的にはどのようにするのか。

答弁 町長 この区域は都市基盤が未整備で、耕作放棄地の解消、都市計画道路の整備促進と良好な居住環境づくりを目的としている。組合ではこの事業に未同意の地権者に対しては理解を得られるよう努めるとともに、土地区画整理法に定められた手続きなどについては弁護士などにも相談しながら取り組んでいると聞いており、町としても組合をしつかり支援していきたい。

再質問 町長が直接この事業に関わっていないように感じたのだが、前の答弁より後退しているように聞こえるがどうか。

再答弁 町長 組合主体で進めており、それに対してしっかりと支援をしていく立場である。また、特別委員会の場に呼んでいただき、お話をさせていただきたい。

町長選挙再出馬への決意と抱負は

答 確固たる信念と身を粉にして先頭に立ち、引き続き町政運営にまい進したい

質問 町民の多くの方が、笹原町長の情熱ある行動力と民間で培ってきた経験と知識を生かした行政手腕に、大いに期待している。令和4年5月に執行される朝日町長選挙に際し、引き続き3期目のかじ取り役としての決意と抱負を、この場を通じて町民の皆様へ力強く表明されることを求める。


答弁 町長 私は議員時代から、あさひ総合病院の医師・看護師確保などをどうするか、企業誘致体制をどう確立するかなど、将来の朝日町を見据えたとき、山積する課題に憂慮し、それらを前進・解決したいという強い思いを胸に、平成26年の町長選挙に出馬した。そして、同年の6月に町長に就任して以来、「自ら考え、自ら行動し、自ら結果を出してい



町長選挙再出馬への決意と抱負は

答 確固たる信念と身を粉にして先頭に立ち、引き続き町政運営にまい進したい

く」という視点の下に、町民の皆様や議員各位のご支援をいただきながら、常に危機意識と明確な目的・目標、スピード感を持って、町の飛躍と発展を担う責任者として町政運営に取り組んできた。



寺西 泉（青雲）

現在は、平成28年度から令和7年度までを計画期間とする第5次朝日町総合計画に基づき、将来像である「夢と希望が持てるまちづくり 朝日町」の実現を目指し、全体計画の総仕上げとなる後期5年の基本計画に鋭意取り組んでおり、時代の潮流を捉えながら、町民の皆様のご意見やご要望に真摯に耳を傾け、町民と行政が一体となったオール朝日町での取り組みを一貫した基本姿勢としている。

朝日町の将来像である「夢と希望が持てるまちづくり」を実現するためには、まだまだ多くの課題が山積している。それらの諸課題に対し果敢に立ち向かい、施策を推進したいと考えている。朝日町の活気や魅力は、町民の皆様一人一人の思いと知恵と行動によって生み出されていくものと考えている。そのためには、町民の皆様をはじめ、地域、団体、事業者、行政のオール朝日町で、目指す方向を共有しながら、町の発展に向け、諸施策の推進を図っていく必要がある。

町が抱える諸問題の解決に向け、町民の皆様の審判を仰ぎ、確固たる信念と身を粉にして先頭に立ち、引き続き町政運営にまい進したいと決意を新たにしている。



業者との価格交渉の様子

あさひ総合病院のコンサルとの業務委託契約の内容は

答 患者増に向けた地域連携強化などを行っている

質問 経営コンサルタントとの業務委託契約は具体的にはどのような内容なのか。

答弁 あさひ総合病院事務部長

一つ目として患者増に向けた地域連携強化。二つ目として診療報酬増とコスト削減。三つ目として職員の経営改善に向けた意識の醸成等に取り組んでいる。

まず、患者増に向けた地域連携強化については、経営コンサルが同行しながら近隣の開業医や医療機関を訪問し、どのような患者の



受け入れ要望があるかなどについて意見交換をしている。次に、コスト削減については、経営コンサルが持つ他病院の事例や全国的なデータを活用しながら、医薬品や検体検査業務委託料について価格交渉を実施しており、今年度の削減効果は約1千万円を上回るものと見込んでいる。さらには、経営コンサルが参加し、部署単位で院長と語る会を適宜開催しており、職員の経営改善に向けた意識の醸成にも努めている。

あさひ総合病院は地域に必要な医療と介護を提供し、自治体病院として今後の新型コロナウイルスの3回目のワクチン接種にも最大限協力しながら、高齢者医療の先進モデル病院を目指し、これまで以上の経営改善に努めたい。

再質問 病院経営には、医師、薬剤師、看護師等の人材確保が大切である。朝日町では修学資金貸与制度が充実しているが、現在の状況は。

再答弁 あさひ総合病院事務部長

看護師の修学資金制度の現在の貸与者は8名となっている。今年度は、新規貸与者は1名、問い合わせ中が1件ある。これまで、平成24年度以降の貸与者の合計は26名となっており、そのうち17名は看護師として採用している。医学士の修学資金は、令和2年度に1名、今年度において2人目となる貸与者が決定した。薬学生はまだ応募がない状況であり、今後、さらにPRに努めたい。

朝日町医学生修学資金貸与制度

朝日町では医師を確保し、地域医療の充実を図るため、医師を志し初期臨床研修後に「あさひ総合病院」で医師として業務に従事しようとする方を対象に修学資金を貸与します。

- 貸与を受けられる方
- ①学校教育法に規定する大学(自治医科大学を除く)で医学を専攻する方。(歯学または獣医学は除く)
 - ②大学で医学を専攻する学生(第5学年又は第6学年に属する方に限る)であって、特定診療科(内科、循環器科、小児科、整形外科、泌尿器科、総合診療科)の医師になる意志のある方
 - ③常勤の医師の確保を目的とする他の修学資金の貸与を受けていないこと。

医学生修学資金貸与制度のチラシ(抜粋)

代表質問

来年の資金繰りに苦慮される 農業者への支援を行えないか



石原孝之（グループ22）

答 燃料などの高騰への次期作経費や 収入保険の加入支援を行う

質問

コロナ禍における外食産業などの業務需要が低迷し米の消費が減少した。今年産米の概算金は1俵60キログラム当たり2千円の大きな下落となった。1月には記録的な大雪による園芸用や育苗用のビニールハウスの倒壊による被害、8月の日照不足や低温による大幅な収量の減少、原油価格の高騰による軽油・灯油の高騰、肥料など資材費の高騰があった。これらは災害に等しいとの声もあり、農業者は来年のための資金繰りに苦慮されている。町として支援することはできないか。

答 町長

令和3年産米の概算金については、本年8月19日に発表があり、全銘柄において金額が引き下げられ、主力品種の富山県産コシヒカリについて、令和3

年産米の1等米が、令和2年産概算金よりも2千円低い、1万1千円となった。

米価の下落に伴う減収については、先の9月議会において、収入減少影響緩和交付金（いわゆるナラシ）、収入保険の制度を活用してほしいと答えたところである。

その後、9月30日に開催した再生事業「コロナ禍を考える」懇談会やアグリネットASAHI、各地区生産組合長、農業委員会のほか、多くの農業者の皆様からさまざまな場面で今年の現状について話をする機会があった。

農業者からの多くの声は、令和3年の農業は、米価の下落のほか、1月の大雪被害に始まり、肥料や燃料の値上がり、またビニール等の石油製品を原料とする資材

費の値上げが相次ぎ、経費が大幅に増えたことや、8月の日照不足により収穫量が減少するなど、農業者の自らの努力ではどうにもならないということであった。

具体的には、米価については、60キログラム当たり、前年産から2千円の減。収穫量についても前年より減少。燃料は20〜25%程度の上昇。肥料は10〜15%程度の上昇と伺っており、これらに対する影響額について、10アール当たり2万円強の減少になるのではないかと推察している。



これら多くの生の声を聞き、今年の状況は農家にとって非常に厳しい状況であることを改めて認識したところである。

一方、担い手農家からは、ナラシや収入保険に加入をしていたこととで減収が補填されることにな

り、本当に助かったといった声があった。

ナラシや収入保険の加入者には、補填されるまでの当面の資金として無利子のつなぎ資金融資も用意され、農業者の皆さんのセーフティネットへの加入の必要性を感じたところである。

これまで私は、町議員時代から、ふるさと納税において米を大きく取り扱うことを進めてきた。町独自の施策としてあさひ農学舎を建設し、農業研修生の受け入れを行うなど多くの農業施策に取り組んできた。

しかしながら、先ほど言った令和3年の現状を見ると、新たな支援が必要だと考えている。

短期的な対応として、来年も引き続き営農するため、燃料や肥料などの高騰に対する次期作経費の支援のほか、中長期的な視野において、翌年度以降の経営リスクを軽減し、安定した経営ができるよう、収入保険の加入に対する支援を考えている。

これらは、令和4年度に向けて支援できるように考えているが、現在、臨時国会において国の補正予算が審議されており、各種事業やコロナに関する交付金の追加などが検討されている。

町に対する交付金の交付状況によつては、本年度中の支援として前倒しをしたいと考えている。

いずれにしても、朝日町の基幹産業である農業を持続可能な産業にするために農家の経営安定が必要であり、関係機関と連携を図りながら、引き続き支援に努めたい。

令和4年度も小学校の学校給食費の助成はできないか

答 臨時交付金の配分状況を見極めながら前向きに検討

質問 子育て世帯の経済的な負担軽減を図るため、小学校の給食費の助成はできないか。

答 町長 朝日町の小・中学校における給食費は、中学校では保護者の経済的な負担軽減と子どもを生み育てやすい環境を整え、定住促進を図ることを目的に、平成29年度から全額補助、いわゆる無償化を実施している。

また、小学校では、コロナ禍において家庭での育児負担の増加や経済的困窮などが見受けられることから、令和2年度、令和3年度の2カ年とも、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用して給食費を無償化とした。

令和4年度の小学校の給食費の

無償化は、9月30日に開催した町内の農・商・工業や医療・福祉、金融、教育などの関係者による、ポストコロナ時代に必要な施策を考える再生事業「コロナ禍を考える」懇談会において小・中学校校長会から、さらには10月28日の朝日町PTA連絡協議会とのタウンミーティングにおいても、PTA連絡協議会会長から小・中学校の給食費無償化の継続実施の要望がなされた。

これらのことを踏まえ、今後、国からの新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金等の配分状況を見極めながら、小学校給食費の令和4年度の実施について前向きに検討したいと考えている。



小学校での給食風景

本文に掲載した記事以外の質問

◆道用 昭雄 議員

- 朝日町の文化財について
- 「朝日町文化財保存活用計画」について
- まいぶんKANと境A遺跡資料について
- 国の人事院と県の人事委員会との関係について
- 朝日町は国県に準じて12月1日を期末手当の基準日としている、その根拠は何か
- 12月1日ぎりぎりに給与条例の改正を議会で決定するのは何故か
- 今年度職員と特別職・議員の減の割合が異なったのはどうしてか

◆寺西 泉 議員

- 町政運営について
- 泊高校跡地活用について
- 泊駅南土地画整理事業の進捗状況について
- 脱炭素社会の実現について
- デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進について
- 町におけるDXの取り組みの現状について
- 町DX推進方針の策定について
- 富山県成長戦略について
- ウェルビーイングの向上について
- 富山県成長戦略と町の施策との関連について

◆石原 孝之 議員

- 学校教育について
- 朝日町型地域パートナー学校支援モデルについて
- 地域おこし協力隊について
- 現在の活動状況と今後の隊員募集の計画について
- 町民の暮らしと健康を守る支援策について
- 配食サービスについて
- 大腸検査について

◆清水 真人 議員

- 除雪体制について
- 今冬の除雪体制について
- ネット依存症対策について
- 現状についてどのように把握し、どのような対策を実施しているのか

◆加藤 好進 議員

- 町政について
- 新型コロナウイルス感染症対策について
- 働く場の確保について
- 福祉について
- 少子化対策と予算について
- フレイル予防事業の現状と活動団体への支援について

◆水野 仁士 議員

- 林業の振興について
- 循環型森林整備体制について

◆荒尾 勇二 議員

- 米価下落に対する支援について
- コロナ禍で、米価が大きく下落した。米生産者に対する支援が必要であると考えているが、どうか余剰米を買い入れて、生活に困難を抱える人に支給してはどうか
- 政府に対しミニマムアクセス米の輸入量を調整するように求めるべきだが、町はどう考えているか
- 安心・安全な生活を営むために
- 新川地区にも宿泊療養施設を備えておかなければならないと考えるが、どうか
- 加齢性難聴者の補聴器購入費に助成するべきだと考えるが、どうか

◆大井 光男 議員

- 「住み暮らし続けたい町」朝日町になるための取り組みについて
- 将来の人口構成を踏まえ、町の特性を活かした町づくりについて
- 朝日町の農業・漁業について
- 漁業の現状と担い手及び従事者確保について
- 新美術館について
- 美術館を拠点とした周辺整備について

あさひまちバスの運行 経費とその財源構成は



大久保 光 太

答 3台でおおよそ3千万円の経費
財源は運賃や県補助、特別交付税など

質問 バスの運行において、車両本体の経費はもちろん、利用状況に関係なく必要となってくる運行経費とこれらの財源構成は。

答弁 住民・子ども課長 あさひまちバスの車両購入にかかる経費は、33人乗りのバスが約2千万円、14人乗りが約400万円となっており、購入の際には、宝くじ助成など、その都度財源の確保に努めてきている。

また、運行に係る経常経費は、運転手の人件費や燃料代などに、1台当たり年間1千万円程度の経費が必要ことから、3台でおおむね3千万円の経費が必要となる。

一方で、バスの運行にかかる財源としては、運賃収入がおおむね500万円程度、県補助も同じく

500万円程度の収入がある。運行経費の3千万円から運賃収入と県補助を差し引いた2千万円に対して、国から8割の特別交付税措置があることから、理論上は運行経費の約13%が町の負担、年間の負担額として400万円程度の経費で3台のバスをきめ細やかに運行できている状況である。

再質問 バスの利用について、障害をお持ちの方が使いたいときに、不安なく利用できるような仕組みはあるか。

再質問 バスの利用について、障害をお持ちの方が使いたいときに、不安なく利用できるような仕組みはあるか。

再質問 バスの利用について、障害をお持ちの方が使いたいときに、不安なく利用できるような仕組みはあるか。

再答弁 住民・子ども課長 33人乗りのバスは、車いすでも乗車することができ。また、障害をお持ちの方は障害者手帳や療育手帳を運転士に提示していただくことで、料金は半額で利用することができるよう整えてある。

33人乗りのバスは、車いすでも乗車することができ。また、障害をお持ちの方は障害者手帳や療育手帳を運転士に提示していただくことで、料金は半額で利用することができるよう整えてある。

ノッカルあさひまち本格運用 後の実績は

答 10月は116名、11月は142名と利用者数を伸ばしている

質問 朝日町版Maas（モビリティ・アズ・ア・サービス）の確立に向けて積極的な取り組みを展開しているが、ノッカルあさひまちの本格運用が始まってからの実績は。

答弁 住民・子ども課長 本格運行移行した10月以降の利用者数は、10月が116名、11月は142名と順調に利用者数を伸ばしている。



利用者1000人突破
記念セレモニー

再質問 朝日町Maas実証実験推進協議会は今後どのような活動をしていくのか。

再答弁 住民・子ども課長 今後は公共交通の利用者を増やすだ

けではなくて、消費の拡大や健康意識の向上にもつなげられないかと考えている。町全体の活性化を図ることを目的に、地域内を移動するとポイントが獲得できる「POHUNT（ハント）キャンペーン」を、実証実験として実施したい。

再質問 POHUNTキャンペーンというのは交通モビリティだけでなく商業なども巻き込んだキャンペーンなのか。

再答弁 住民・子ども課長 こ

れは公共交通を利用するとポイントがもらえ、外出先のお店や施設でもポイントが獲得でき、獲得したポイント数に応じて抽選により豪華景品が当たるキャンペーン。獲得方法は、スマホをお持ちの方はQRコードを読み取る、スマホをお持ちでない方には、紙ベースだがスタンプカードを用意してスタンプを押印する方法の2つの獲得方法がある。また、外出できなくても、アンケートへの回答や町関連のチラシの閲覧でもポイントが獲得できる。また、健康教室で健康セルフチェックなどの調査票への記入でも、提出時にポイントがもらえる仕組みになっている。このPOHUNTキャンペーンは、1月中旬から2月末までを予定し、抽選会を3月に実施予定である。

高齢者世帯への除雪支援への検討・改善・対策は



清水 眞人

答 高齢化による人手不足などが課題で従来の指定業者以外でも補助対象予定

質問 要援護高齢者世帯等除雪費補助金交付制度について、3月の定例議会では、今後ますます一人暮らし高齢者や、高齢者のみ世帯の増加が予想される中、地区による除雪に対する助成の提案に対し、地区におけるボランティア的要素の自助・共助の精神というの



除雪作業を行う人々

は非常に大事であり、後押しできる体制に前向きに取り組みたいと答弁されたが、どのように検討・改善・対策がなされたのか。
答弁 健康課長 各町内会における高齢者世帯への除雪支援体制について実態調査を実施した結果、99の町内会から回答があり、現在除雪支援体制を構築しているのは15町内会、そのうち高齢者などに費用請求しているのは2町内会となっている。実態調査の結果、最大の課題は、高齢化による人手不足・平日日中の人手不足などが挙げられている。
このため今年度から、従来の指定業者以外の業者に依頼した除雪費用も補助対象とする予定である。また現時点では、議員ご指摘の地区による除雪に対する助成に

については見送ることとした。

再質問

除雪助成制度が告示されたのは、今から10年前の2012年1月17日。当時の朝日町全体の高齢化率は約35%、現在は42・3%になっている。嫌な言葉だが限界集落（人口の50%以上が65歳以上の集落）は実質で27町内に上っている。必ずしも蛭谷地区、羽入地区などの山間部だけではなく、荒川地区など街部も入っている。

厳しい高齢化の現実の中で、みんなでコミュニティを守ろうと努力をしている。議会では、明日の話、明後日の話をしているが、今日があつて初めて成り立つ話である。支え合い、助け合いの活動を継続させていくために、私は、助成制度は絶対必要と考えているが、助成できない理由は。

再答弁

健康課長 現状、除雪は多くの地区において無償の支え合いで成り立ち、それを大切にしたいと考えており、現時点では助成については見送りたい。

条例等の制定・改廃はどのように進められているのか

答 時代の情勢を踏まえ

所管部署で対応している

質問

朝日町の地域特性に応じ

た町独自の条例などほどの程度の本数があるのか。

また、先ほどの除雪助成や町営墓地条例など、時代に適合していない例があるのでと考えるが、どのように対処しているのか。

答弁

総務政策課長 町には、196本の条例があり、規則は163本を制定している。このほか、町長がその指揮監督権に基づき職員に対して発する命令である訓令、行政機関内部における事務処理基準や行政指導基準である要綱がある。

また、条例などの制定及び改廃は時代の情勢を踏まえ、その必要性、適法性及び有効性を判断した上、所管部署で対応している。

再質問

行政の一丁目一番地は、住民の命を守り、暮らしを守ることにある。そのために、時代の変化に合わせた条例などの制定・改廃は、どのように進められているのか。

再答弁

総務政策課長 担当課で議論されて改正されていると認識しているが、今一度、町民目線で考えるよう改めて周知したい。

令和4年度予算編成の基本方針は

答 1・5%のマイナスシーリングの設定など事務事業の改善を要請



加藤 好進

質問 少子高齢化の進行など社会構造の変化により社会保障費の増加が続く中、新型コロナウイルス感染症に対応するため、厳しい財政状況に置かれていると察する。

引き続き財政の健全化に向けた令和4年度予算編成の基本方針は。

答弁 企画財政課長 令和4年度予算編成の基本方針において

は、一般財源ベースで1・5%のマイナスシーリングを設定し、既存事業の成果を評価した上で、前例踏襲に終始した工夫のない予算要求とならぬよう、スクラップ・



アンド・ビルドなど事務事業の改善を要請した。

予算編成に当たっては、少子高齢化や健全な行財政運営、環境問題など地域の諸課題に取り組むことで地域としての持続性を高める、サステナブルな地域社会の創造、デジタルの力や多様な地域資源を最大限に活用し、重点施策に積極的に取り組むとともに、感染症拡大防止と社会経済活動の両立を図りながら、将来に向けた規律ある財政を堅持していく必要がある。町税はもとより国・県支出金等も含め、より一層の歳入確保を徹底し、最少の経費で最大の効果を上げるとともに、歳出の重点化、事業の廃止・見直し・合理化・効率化による、めりはりの効いた予算編成を考えている。

境A遺跡の貴重な歴史文化をふるさと教育へ活用の考えは

答 ふるさと科で町の自然や文化を学ぶ機会の創出などを想定

質問 境A遺跡は、縄文時代中期から晩期の集落遺跡で、貴重な出土品約9万点が朝日町に移譲され、有効な観光資源として交流人口の拡大に結び付けていく必要があるが、この貴重な歴史文化を、

当町の小・中学生に、朝日町に生まれてよかったと誇れるような「ふるさと教育」への活用の考えは。

答弁 教育委員会事務局長 境A遺跡を生かしたふるさと教育の推進については、主に次の3点を考えている。

まず、1点目は、令和4年度からスタートする保小中一貫教育において、町独自の教科「ふるさと科」を新設し、中学1年生の総合的な学習の時間において、まいぶんKANに足を運ぶなど、朝日町の自然、文化を学ぶ機会を設ける。

2点目には、縄文土器作りなどのワークショップの開催、文化財マップを活用した遺跡巡りや学芸員などによる講演会の開催など、子どもから大人まで幅広い年齢層が縄文時代の歴史と文化に触れ合

える機会を提供する。

3点目は、富山県教育委員会や富山県埋蔵文化財センターと連携し、まいぶんKANでの境A遺跡出土品の展示を見応えのある企画展として開催することとしている。令和4年度においては、ヒスイをはじめとする石で作った玉を中心に展示し、その歴史や魅力に迫る「大縄文展」を開催することとしている。

縄文時代の祖先が育んできた太古のロマンが詰まった境A遺跡が存在することは大変誇らしく、町の貴重な宝でもあることから、境A遺跡の魅力を情報発信するとともに、ふるさと教育の資源として活用するなど、町民をはじめ多くの方々を知っていただけるよう、その活用に努めたい。



おかえりなさい境A遺跡展 (2月13日まで開催)

指定から35年経過した 用途地域見直しの考えは



水野 仁士

答 令和6年度中の手続き完了を目指し
来年度から見直しに取り組みたい

質問 都市計画法による用途地域約229・9ヘクタールだが、指定から35年を迎え、泊駅南土地区画整理事業が工事中で、時代も人口減少時代へと変わってきている。将来のことを考えれば、町は用途地域の見直しを迫られているのではないかと思うが、見直しの考えは。

答 建設課長 朝日町において、昭和61年に初めて用途地域を指定し、平成8年に見直しを行い、現在は市街地を中心として、住居、商業、工業の分野で7種類を指定している。用途地域の見直しは、平成29年8月に改定した都市計画を定める際の総合的な指針となる朝日町都市計画マスタープランで、未利用土地における土地利用、いわゆる用途地域の在り方

について、社会情勢の変化や地域住民の意向を勘案し、今後の土地利用の在り方を検討する方針を示した。

このような中、令和2年度から都市計画マスタープランの高度化版と言われている立地適正化計画の策定に取り組み、朝日町特命戦略推進監の宮口侘延早稲田大学名誉教授を委員長として各種団体の代表者で組織する立地適正化計画策定委員会を立ち上げ、この会議の場において、用途地域の見直しを求める意見をいただいたところである。

用途地域の未利用農地において基盤整備事業を実施したいとする地権者をはじめ、関係町内会や農業関係団体からの意向を受け、町としても、将来の土地利用を見据

え、来年度から用途地域の見直しに着手していきたい。見直しに関する手続きには、農業振興地域の変更や県をはじめとする関係機関との協議に2年から3年程度の時間を要することから、令和6年度中の手続き完了を目指し、来年度からの見直しに取り組みたいと考えている。

ふるさと納税の11月末までの 寄附金額は

答 4710万7千円で昨年
同時期を若干上回っている

質問 ふるさと納税の11月末までの寄附金額について、毎年寄附金額が増額になり成果を上げてきているが、その要因と要望の多かった



朝日町の返礼品

返礼品は。また、寄附金の一層の増額を図るため、今後どのような方策を取っていくのか。

答 商工観光課地域経済活性化担当課長 今年11月末までの

寄附金額は4710万7千円となっており、昨年の同時期を若干ではあるが上回っている。寄附金額が増加している要因は、これら朝日町の特産品の味や品質が認められ、リピーターが増えていることに加え、朝日町のあるさと納税を紹介するインターネットポータルサイトの数を年々増やしていることで、寄附を考えている方の目に留まる機会が増えているものと考えている。また、要望の多かった返礼品は、朝日町産の米やペットボトルのバタバタ茶、黒ウーロン茶、カニなどの海産物の順となっている。

さらなる寄附金額の増額を図るため、このたび「バイヤーズルーム2021」金賞を受賞した愛場商店の沖漬けや、朝日町産とやま和牛を今年度の返礼品に新たに加えるなど、新規の返礼品や生産者の掘り起こしを行っている。さらに、返礼品の新規開拓に加え、返礼品の在庫数の確保や寄附しやすい金額に合わせた返礼品の提供などにも取り組んでいる。

一般質問

国民健康保険税の軽減が 未就学児に限られる理由は



荒尾 勇二

答 全ての世帯員への一定割合負担を 考慮し、今回は未就学児に限る

質問 国民健康保険法の改正に伴い、町も未就学児に対する保険税の均等割が半額になる。高い保険税負担が軽減され、保険税の軽減を求めてきた町民にとって、わずかだが前進したと考える。

しかし、子育て支援をうたいながら、軽減が未就学児に限られるというのでは不十分だと思いが、未就学児に限られる理由は。

答弁 健康課長 国の見解は、全ての世帯員が等しく保険給付を受ける権利があることから、世帯員の数に応じた負担をする必要があり、所得の低い方も一定割合の負担をしていることを考慮し、今回は未就学児に限り軽減するといふものである。

再質問 学校へ通っている子を持つ家庭には何の影響もない。

就学児が多いほど負担は大きい。就学児についても軽減するべきだと考えるが、どうか。

再答弁 健康課長 全世代対応型の社会保障ということで法律が改正された。後期高齢者の医療費窓口負担が1割から2割に増額され、逆に子育て世帯への軽減制度が設けられた。子どもが多い家庭はより金がかかり、小学生、中学生のいる家庭も対象にという考え方も当然あると思う。しかし、低所得、子どものいない家庭などの立場から、幅広く軽減することは



いかなものかということも考慮し、国が制度設計をした。また、未就学児と小学生・中学生では、かかる医療費が全く違い、未就学児はたくさん医療費がかかる。

再質問 子どもには支払い能力がない。そうした子どもに課税するのは、おかしいのではないかと。

再答弁 健康課長 被用者保険の保険料は収入に応じて賦課されるもので、国保は子どもにもかかってくるという制度の違いがあり、一世帯当たりの保険税は高くなる。また、被用者保険は国費や公費は投入されていないが、国保は国費が2分の1充当されている。なるべく負担が高くないようになつており、国の制度ということもあり、変えるのは困難である。

国民健康保険税を引き下げる べきだと考えるが町の考えは

答 町の基金が減少している
状況で引き下げは困難

質問 国民健康保険税は他の健康保険料より高く、保険税の引き下げを求める声が強い。医療費の負担も大きくなつており、保険税を引き下げるべきだと考えるが、町の考えは。

答弁 健康課長 町の国保事業は、特別会計処理をしており、財

源不足を補うための法定外繰り入れは国保被保険者以外の税を充当することになり、推奨されるものではないことから、県への保険税納付金や町で実施する保険事業に要する費用に不足が生じる場合は、町の国保財政調整基金を取り崩し充当している。平成29年度末の基金残高は約1億円だったが、現在は約7500万円であり、保険税を引き上げていかなければならない状況であり、引き下げは困難である。



発言 国の社会保障制度は、ほとんど削られている。医療費でいえば、保険料負担者は医療費窓口負担が1割だったものが3割へと引き上げられてきた。最近では診療報酬の引き下げもいわれている。国は社会保障を削りながら国民に負担を求めている。何のための健康保険かということを考えてもらいたい。

新美術館の概算の 総事業費は

答 建築主体工事、電気設備工事など
現時点で約3億2千万円を見込む



大井 光 男

質問 なないろKAN内外の現状把握も終わり、新美術館の実施設計に入と思うが、新美術館の概算の総事業費は。

答 教育委員会事務局長 コ

ロナ禍におけるウッドショックにより、木材製品が3割を超える大幅な価格高騰とアルミ、鉄材、ガラスに加え運送費が値上がりしている状況にある。さらなる影響も推測されるが、建築主体工事、電気設備工事、機械設備工事の合計額は、現時点で約3億2千万円を見込む。

再質問 町長は美術館には年に何回ぐらい行っているか。

再答 町長 何回か明確に答えられないが、最近ではコロナ禍でやっていないが、いつもはセレンコニーで展示が変わるごとに行っ

ている。

再質問

これから新しい美術館を作るわけだが、課長さんや皆さんは年5回企画展以外に行った方はおられるか。ほとんどおられないと思う。

なぜこういうことを言うかといえば、美術館をどうするという話のときに、ほとんど見たことがないのが現実であり、美術館はどういうものか、また、どのようにするか、まず真剣に考えるべきだと思う。

町長は町民にとって美術館はどういう位置付けだと考えているか。

再答 教育長 議長から指名があったので答える。教育委員会の立場としては、町民ならず、子どもたちにとって、美しいものを生で見ると同時に心の醸成に役

立っていると思うので非常に重要な場所だと考える。

再質問

町長は10年後に今建てた美術館の姿をどう描くのか。

再答 町長

1年前からこの美術館をどのようにするか取り組んできた。境A遺跡の出土品が返ってくる。従来の美術館では手狭、収蔵庫が必要、そういった中で、より良いものにしようということ、そして公共施設の在り方の中のことも含んでいたと思う。

境A遺跡とコラボをしながら、その一帯を魅力ある所となるよう水面下で進めている。そこに新たな付加価値を付ける気概である。

農家にとって苦しい状況だが1ヘクタール当たりの損失は

答 影響額は20万円強の減少になると推察している

質問

令和3年の米価が1俵当たり2千円下がり、燃料、資材等の価格高騰が続く農家にとっては苦しい状況である。

来年の生産調整目標(減反調整)は2%増の40%と過去最大となった。農業の現状をどのように把握し、1ヘクタール当たりの損失額はいくらか。今後の支援はどのように考えているか。

答 農林水産課長

影響額は1ヘクタール当たり20万円強の減少になると推察している。

支援は短期的な対応として、燃料や肥料などの高騰に対する次期作経費の支援、中長期的には翌年度以降の経営リスクを軽減し安定した経営ができるよう、収入保険の加入に対する支援を検討している。また、国の補正予算が審議されており、町に対する交付金の交付状況によっては、本年度中の支援を前倒しで考えている。

再質問

10アール当たりどのくらい農家に支援できるのか。

再答 町長

国会の臨時交付金などを視野に入れながら、年度内の前倒し、新年度予算に支援策を講じていく。明解なことは、国会の状況を踏まえながら。少し時間をいただきたい。

再質問

先だつて入善町では、10アール当たり一律2千円の交付金を交付すると発表された。朝日町は今のところ検討中ということだが、朝日町ではそのような考え方はないのか。

再答 農林水産課長

今回、特に他市町村のことというよりも、朝日町の農業者の現状を見て、支援をさせていただきたい。

常任委員長報告

常任委員長報告

総務産業委員会

当委員会は、12月13日、午前9時から開催し、議会から付託されました、

○議案第49号 令和3年度朝日町

一般会計補正予算(第6号)

○議案第52号 令和3年度朝日町

簡易水道特別会計補正予算(第2号)

○議案第53号 令和3年度朝日町

下水道特別会計補正予算(第1号)

以上、3案件については、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

なお、審査の過程において、次の要望、意見がありました。

・夢と希望が持てるまちづくりの実現に向けて、産業振興、雇用促進などの施策を、着実に遂行されたい。

民生教育委員会

当委員会は、12月14日、午前9時から開催し、議会から付託されました、

○議案第49号 令和3年度朝日町

一般会計補正予算(第6号)

○議案第50号 令和3年度朝日町

国民健康保険特別会計補正予算(第1号)

○議案第51号 令和3年度朝日町

後期高齢者医療事業特別会計補正予算(第1号)

○議案第54号 令和3年度朝日町

病院事業会計補正予算(第2号)

○議案第55号 朝日町国民健康保険条例一部改正の件

○議案第56号 朝日町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例一部改正の件

○議案第57号 朝日町特定教育・

保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定

める条例一部改正の件

○議案第58号 朝日町国民健康保険条例一部改正の件

以上、8案件について、慎重審査いたしました結果、付託されております全案件は、それぞれ原案のとおり可決すべきものと決しました。

お知らせ

朝日町議会議員の会派

●グループ22(3名)

【代表】西岡 良則

加藤 好進

石原 孝之

●青雲(2名)

【代表】水野 仁士

寺西 泉

●一歩会(2名)

【代表】清水 真人

道用 昭雄

項目	R3.10.1~12.31		R3年度累計	
	件数	支出金額(円)	件数	支出金額(円)
祝儀・寸志	6	52,060	6	52,060
香典・生花・見舞	2	15,000	5	45,000
土産・贈答	0	0	0	0
負担金・会費	3	37,000	3	37,000
懇談会	0	0	0	0
餞別・激励・協賛金	1	5,000	3	15,000
その他	0	0	0	0
合計	12	109,060	17	149,060

議長交際費を公開します



議会日誌

十月

- 18日 議会だより編集委員会
- 25日 全員協議会・議員協議会
- 26日 朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会中央要望
- 黒部川治水同盟中央要望(新潟)

十一月

- 2日 議会運営委員会
- 10日 朝日滑川間国道・バイパス建設促進期成同盟会中央要望
- 黒部川治水同盟中央要望(東京)
- 15日 全国過疎地域自立促進連盟定期総会(東京)
- 22日 全員協議会・議員協議会
- 26日 町村議会議長全国大会・豪雪地帯町村議会議長全国大会(東京)
- 30日 議会運営委員会
- 令和3年11月朝日町議会臨時会本会議
- 議員協議会

十二月

- 2日 令和3年12月朝日町議会定例会本会議(提案理由説明・細部説明・質疑)
- 6日 全員協議会
- 6日 議会運営委員会
- 9日 本会議(代表・一般質問)
- 10日 本会議(一般質問)
- 13日 総務産業常任委員会
- 14日 民生教育常任委員会
- 16日 議会運営委員会
- 議員協議会
- 本会議(委員長報告・討論・採決)



おかえりなさい境A遺跡展
企画展示解説会に参加しました

議会報告会を開催いたします

朝日町議会では、全議員が直接町民の皆さまに対し、議会定例会での審議内容をお伝えし、意見交換する場として、議会報告会を以下のとおり開催いたします。

事前の申し込みは不要ですので、どうぞお気軽にお越しください。

- 日 時：4月23日(土) 午後6時～
- 場 所：アゼリアホール
- 内 容：委員会報告・質疑及び意見交換

※新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、当日に熱がある方、体調が悪い方は来場をお控えください。また、会場は席数を制限しておりますので、予めご了承ください。

編集後記

あけましておめでとござい
ます。

昨年は議会だより編集委員会
に対しまして町民の皆さまや町
当局、そして全議員の協力のも
と、年間を通してしっかりと取
り組む事が出来ましたことに心
から感謝申し上げます。

さて、この議会だよりが町民
の皆さんにお届けされる頃には
議員任期も残り7ヶ月になる頃
であります。今年の8月には任
期満了による選挙が予定されて
いるわけですが、どの方が
議員に当選されましても、こ
の議会だよりというツールは町
民と議会とが情報を共有できる
大切な冊子であります。

将来的にはより良く改良しな
がら質の高いツールとして町民
の皆さんにお届けできるように知
恵を絞りながら各号ごとに進化
できるように取り組んでいきたく
と思います。併せて様々な提案
をいただければ大変ありがたい
ので、よろしく願いたしま
す。
(大久保)

◇議会だより編集委員

- 大久保 光太
- 水野 仁士
- 西岡 良則
- 荒尾 勇二
- 石原 孝之

